

土地境界図の書き方

本境界図のとおり合意する。

立会場所・土地の地番	土地所有者・住所・氏名・印	立会年月日	合意年月日
中野区中野四丁目8番1	東京都中野区中野 8－1 中野 太郎 (印)		
中野区中野四丁目8番2	東京都中野区中野 8－2 中野 太郎 (印)		
中野区中野四丁目6番1	被相続人 沼袋 一郎 東京都中野区鷺宮 1－1－1 相続人 沼袋 次郎 (印)		
中野区中野四丁目9番1	東京都中野区中野 9－1 野方 花子 (印)		
中野区中野四丁目7番			

土地境界図		縮 尺
土地所在 地 番	中野区中野四丁目 8 番 1 ほか	$\frac{1}{250}$

☆表題については、代表地番を記入のため「ほか」を記入する。

☆縮尺は1／250を基準とする。

点名	X座標	Y座標	備 考
P. 1			コンクリート杭 ☒
P. 2			コンクリート杭 ☐
P. 3			鉄 ☐
S. 1			御影石 ☐
S. 2			御影石 ☐
S. 3			鉄 ☐
S. 11			御影石 ☐
T. 1			鉄 ☐
T. 2			鉄 ☐
T. 3			鉄 ☐
T. 4			鉄 ☐
T. 5			鉄 ☐
S. 12			街区基準点 ○○A○○
S. 13			中野区公共基準点 S○○

世界測地系（測地成果2011）

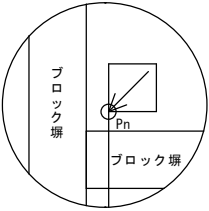
☆下図の段階で区担当者に確認を受けること。

☆署名欄については、実務取扱者が立会場所、土地の地番を印字し、住所、氏名、立会年月日、合意年月日は土地所有者本人が署名、捺印する。

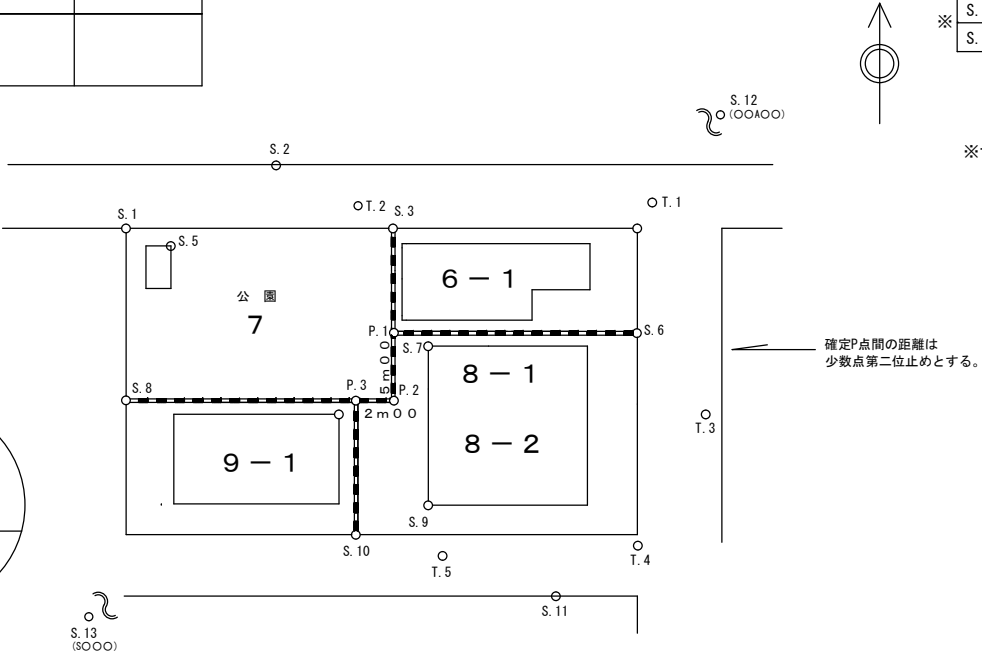
☆署名は黒インクのボールペン等で鮮明に記入する。ただし、官公庁、法人等はゴム印でも可とする。

☆合意年月日は、本人が記名押印した日とする。

☆土地所有者に相続等があった場合は、被相続人と相続人を記載する。



各P点詳細図



☆作図は黒一色に統一し、線の太さは0.2mm程度とし、P. n点間の境界辺結線については、0.5mm程度とする。

☆測点は一重丸で統一する。
尚、P. n点プロットの大きさは1.5mm程度で白塗潰しとし、S. n点及びT. n点のプロットの大きさは1.0mm程度で塗潰しなしとする。

☆公園と現地が違う場合は、上段に公園上の地番を、下段に合意地番を（ ）で表示する。

☆申請地番上側に町丁名を記入する。

☆文字、数字は2.2mm以上鮮明に読めるように記入する。

☆各点は必要に応じて拡大図で表示する。

☆S. n引照点は、P. n境界点に対して3～4点測点を設ける。
別途、区担当者の指示があった場合はそれによるものとする。

※世界測地系で図面作成の場合は使用基準点名を座標欄に記入し、また平面図に図示すること。

☆座標の備考欄には現地表示を記入する。

☆現地確認後、境界点への埋設物については区の指示を受ける。

確定P点間の距離は少数点第二位止めとする。

☆測量年月日は、立会日以降とする。

作成者	印
測量年月日	年 月 日

凡例	○ P. n	境界点
	○ S. n	引照点
	○ T. n	機械点
	○○○○○○	境界辺長

※ この作成例に記載されている事項によりがたい場合は、区担当者の指示によるものとする。